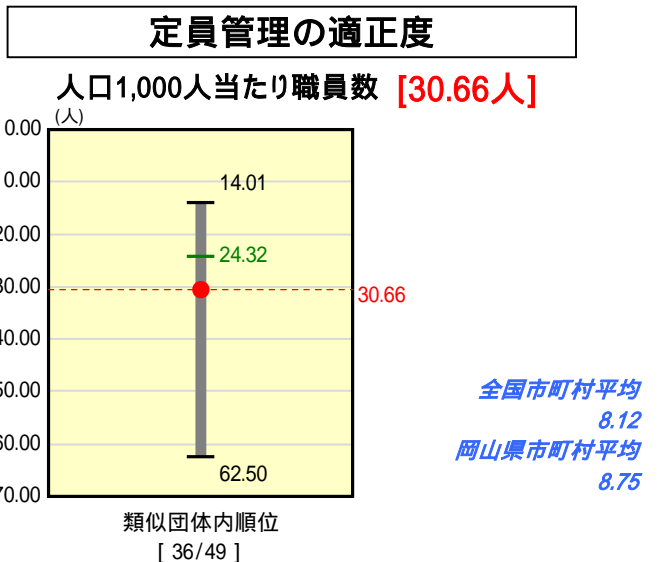
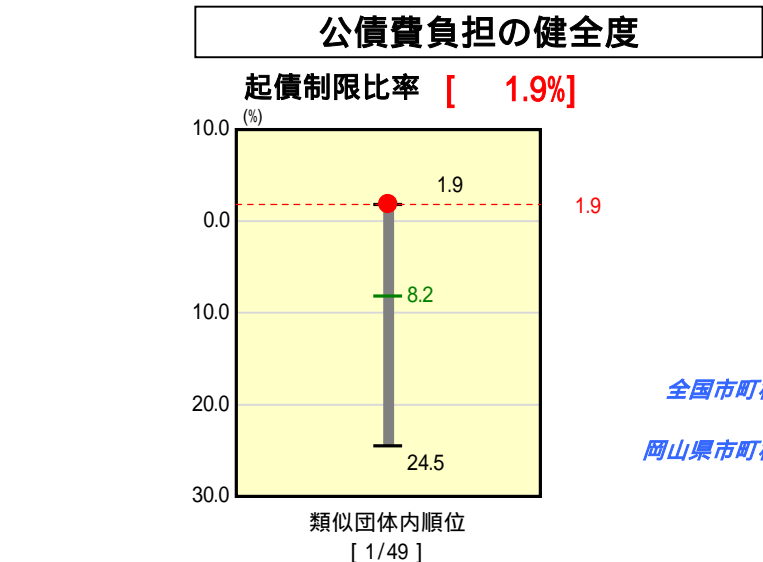
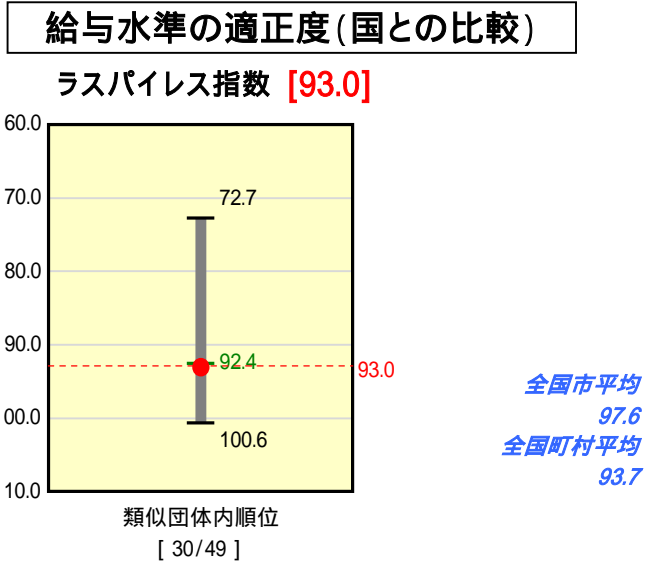
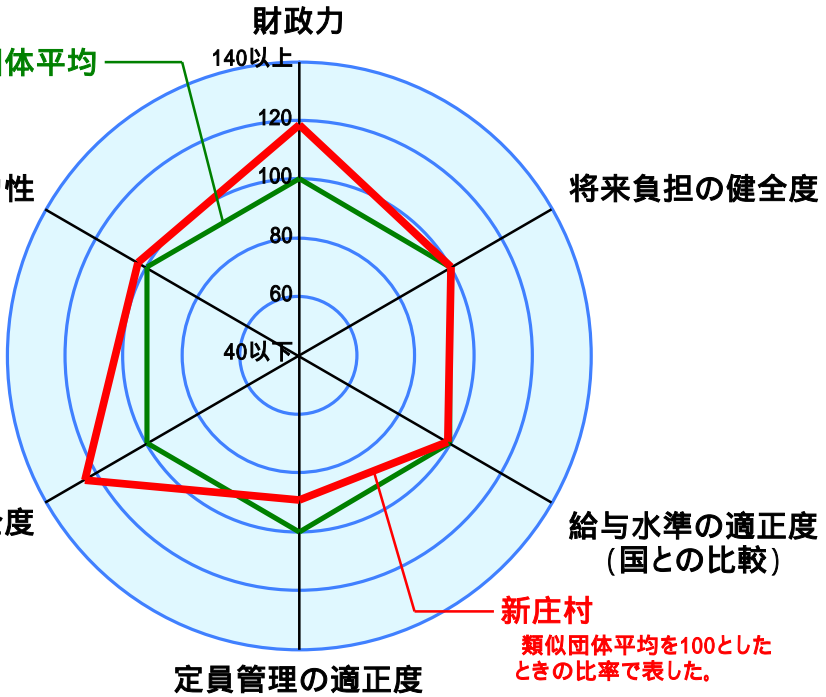
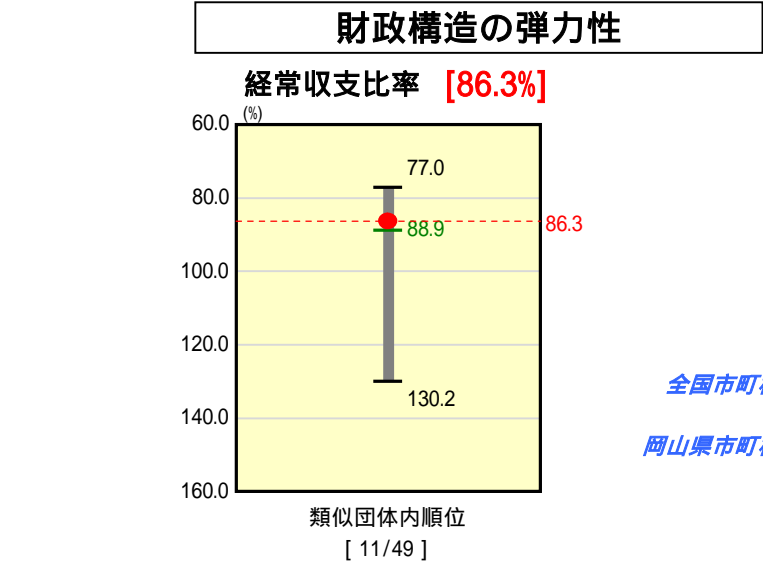
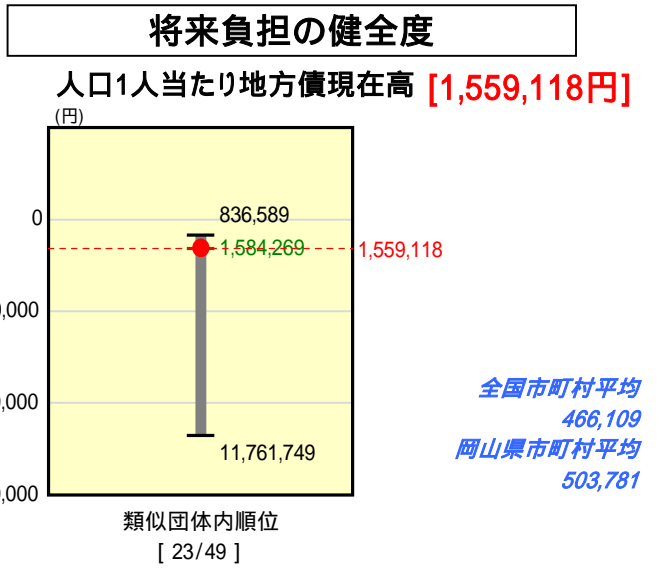
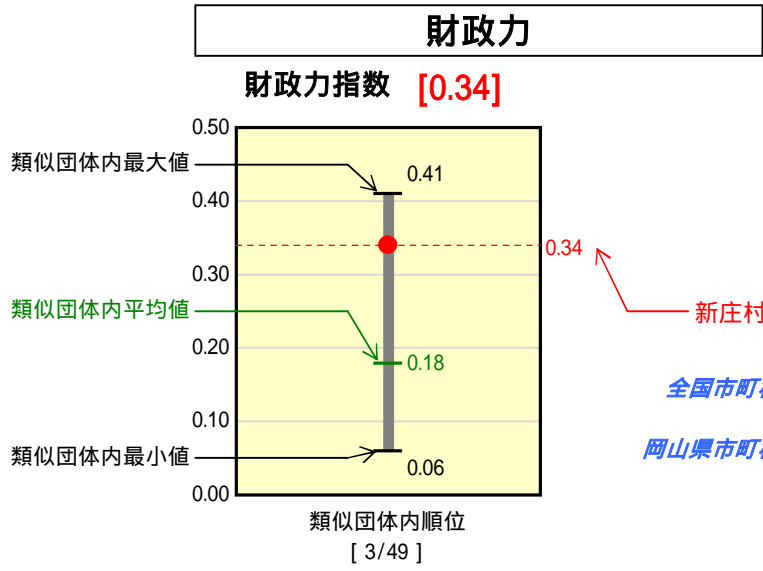


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

岡山県 新庄村

人口	1,109人(H17.3.31現在)
面積	67.10 km ²
歳入総額	1,590,952千円
歳出総額	1,448,464千円
実質収支	97,376千円



分析欄

財政力指数: 償却資産である固定資産税が歳入全体の2割近くを占めており、0.34と類似団体の平均値を大きく上回っている。しかし、毎年3.4%の減収が見込まれるため、今後は行政の効率化に努めることにより財政の健全化を維持していく。

経常収支比率: 類似団体平均と比較すると低い状況にある。第1次行政改革により突出していた補助費の削減(対前年度比4.5%)に努めたが、経常一般財源となる地方交付税・臨時財政対策債の減少(対前年度比各9.1%・29.9%)が大きく、その結果前年度から10ポイントも悪化した。今後は人件費の削減など行政改革への取り組みを通じて、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

起債制限比率: 交付税措置がある起債(地域総合整備事業債)の繰上償還を行ったため、全国的にも珍しいマイナスの数値を示している。しかし、平成14年度から簡易水道特別会計・下水道特別会計の工事増加に伴い、起債額が両会計で年間200百万円を超えているため、一般会計内での起債額を引き続き抑制し、財政の健全化を堅持していく。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均は下回っているが、全国平均や県平均を大きく上回っている。平成13年度からは地方交付税の振替措置として発行している臨時財政対策債が4年間で、272.8百万円になっており、地方債現在高増加の一因となっている。今後は建設事業の精査を行うとともに引き続き後年度地方交付税措置される地方債の発行を行い、財政の健全化に努める。

ラスパイレス指数: 類似団体平均を上回っているが、全国町村平均は0.7下回っている。平成16年からは、給与の諸手当の見直し等により2.2減少した。今後は、年功的な給与体系を見直すことにより上昇を抑えていく。

人口1,000人当たり職員数: 類似団体平均よりも6人程度上回っている。平成17年度において退職者が3人発生することから、この内2人について退職者の補充を行わず、ITの活用等により、住民サービスを低下させることなく、現在の事務分掌の抜本的見直しを中心とした組織の簡素化により、類似団体平均の水準まで職員数の削減を図り、適正な定員管理に努める。